

TOTO

東陶機器株式会社

節水フラッシュバルブ (バキュームブレーカ付)

TOTO

取扱説明書

- このたびは、TOTO節水フラッシュバルブをお求めいただきまして、誠にありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この説明書は、大切に保存しておいてください。

もくじ

特長・各部のなまえ	1～2
吐水量の調節	3
凍結予防のしかた	4
手入れのしかた	4
分解と点検	5～6
分解図	7～8

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



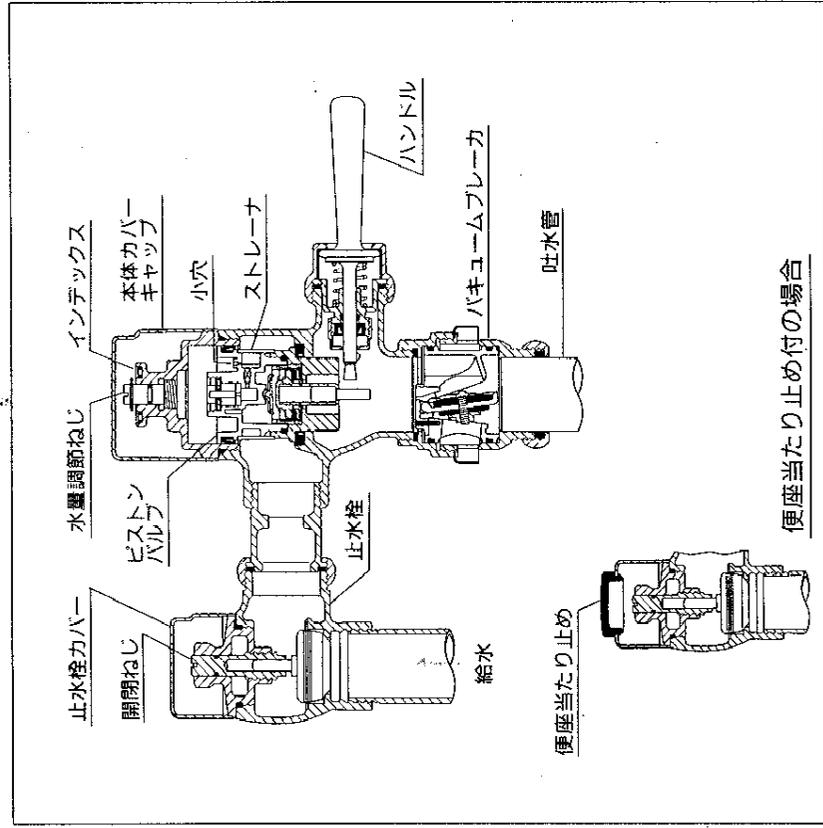
0120-03-1010

受付時間9:00～17:30(土・日・祝日を除く)

特長・各部のなまえ

この節水フラッシュバルブは、次のような特長を持っています。

- 節水効果が大きく経済的です。
従来のフラッシュバルブは、ハンドルを押している間は水が流れ放しとなり無駄使いされがちでしたが、この節水フラッシュバルブはハンドルを押し続けなくても1回分しか吐水しません。したがって節水効果が大きくたいへん経済的です。

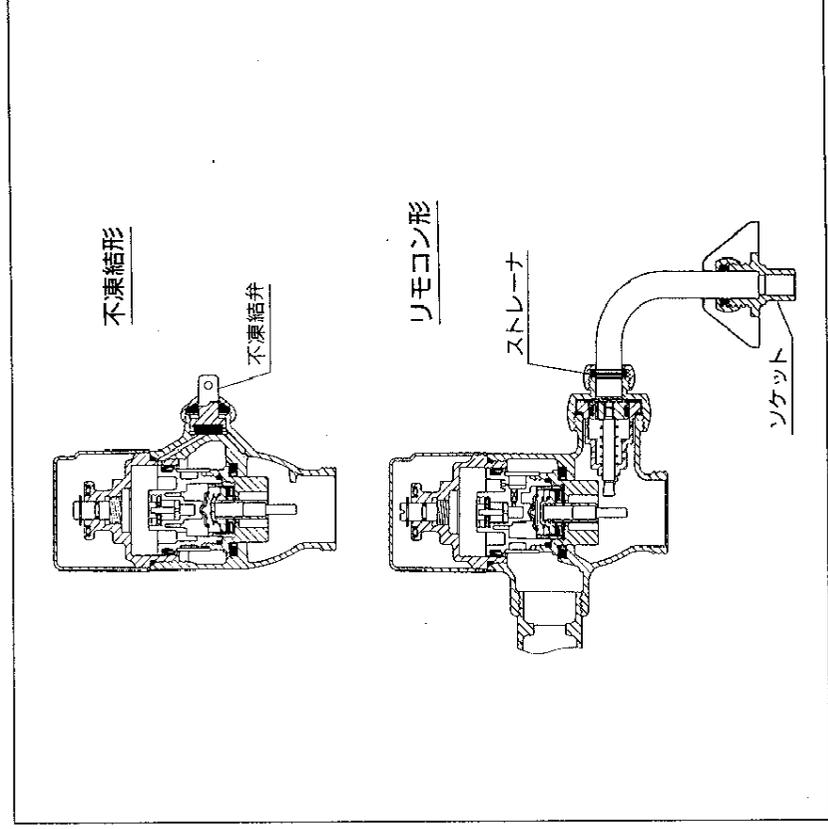


便座当たり止め付の場合

- 吐水量の調節が容易にできます。

従来のフラッシュバルブは吐水量の表示がありませんので調節した位置での吐水量がわからず、調節に手間がかかりがちでした。この節水フラッシュバルブには目安になる数字が表示しており、調節ねじの合印を数字に合わせるだけで容易に調節することができます。

- 不凍結形は不凍結弁を開くだけで凍結を予防できます。

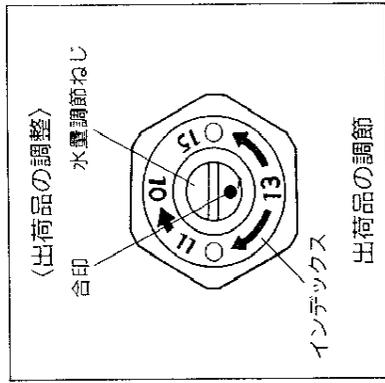


吐水量の調節

大便器の標準洗浄水量は次のとおりです。

洗浄様式	標準洗浄水量
洗出し式	11L
洗落し式	13L
上記以外	

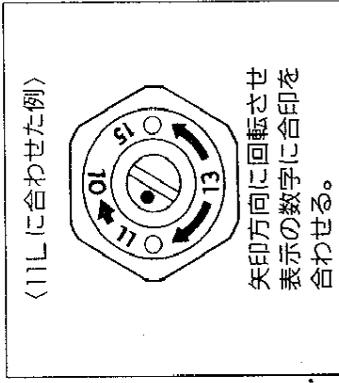
大便器の洗浄様式に合わせて、次の要領で吐水量を調節してください。



1. 本体カバーキャップを取はずしてください。
2. 出荷品は左図(上)のようにセットされていますので、水量調節ねじを矢印方向に回転させインテックスに表示の吐水量を示す数字に合印を合わせてください。

注：インテックスに表示されている数字は、吐水量の調節が容易にできるように表示した目安です。したがって正確な吐水量を表わした数字ではありません。

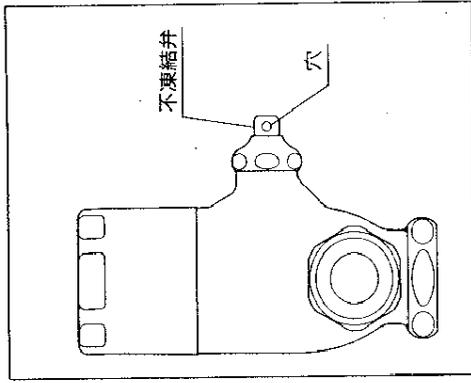
3. 合印を合わせた後、ハンドルを操作して確実に洗浄できるか確認してください。
4. 洗浄の確認が終わったら本体カバーキャップをねじ込み、十分締付けください。



※標準調節吐水量で洗浄が不完全な場合は、水量調節ねじで吐水量をさらに適正に調節してください。

凍結予防のしかた(不凍結形の場合)

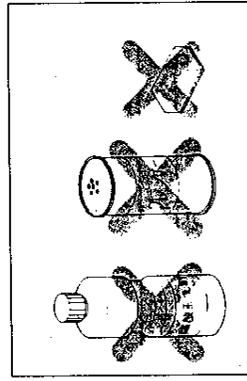
1. 冬期の凍結のおそれがある場合は、不凍結弁の穴に細い釘状のものを差込んで左に回し、弁を開いてください。常に少量の水が便器内に流入して凍結を予防します。
2. 夏期など凍結のおそれのない場合には、弁を閉めてください。



手入れのしかた

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、普段は柔らかい布でみがき、時にはミシン油やカーワックスなどをしませた布でみがいてください。お手入れが十分ですと、いつまでもさびたりせず、美しい輝きを失いません。

なお、クレンザー、みがき粉や粗い粒子を含む洗剤及びナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もし使用したときはすぐに器具を十分水洗いしてください。



分解と点検

機能に不具合を生じた場合は、下表の点について7～8ページを参照して
お確かめください。さらに、ご不明の点がございましたら施工業者又はお
客様相談室へご相談ください。

※分解図中()の番号は取替部品を表わしています。取替のためにこれら

の部品が必要になりましたら、販売店へご注文ください。
※めっきされた部分にスパナを用いるときは、めっきに傷を付けないよう
必ず布片をはさんでください。

※部品の購入先は、お客様相談室にお問い合わせください。

故障の状態	故障の原因	点検箇所	対策	備考
水が出ない。	● 開閉ねじが閉まっている。	1	開閉ねじを左に回して開く。	
	● 押棒部のストレーナに雑物が詰まっている。	10	ストレーナを取り出してブラシで清掃する。	リモコン形のみ
吐水量が少ない。	● 押棒の小穴が詰まっている。	11	押棒を取り出して小穴に1mm以下の針金を通して掃除する。	
	● 吐水量の調節不良	9	水量調節ねじを左に回して吐水量を増す。	
少量の水が流れ放し	● Uパッキンが摩耗している。	2	ピストンバルブを取り出しUパッキン(91342HP)を取替える。	
	● ピストンバルブとシートパッキンとの間に雑物がはさまっている。	3	ピストンバルブを取り出し雑物を取り除く。	
	● シートパッキンに傷がある。	3	シートパッキン(TH321)を取替える。	
	● 不凍結弁が開いている。	12	不凍結弁を右に回して弁を閉める。 (凍結の恐れがない場合のみ)	不凍結形のみ
多量の水が流れ放し	● ピストンバルブの小穴に雑物が詰まっている。	4	ピストンバルブを取り出して小穴に0.5mm以下の針金を通して掃除する。	
	● ピストンバルブのストレーナが目詰まりしている。	5	ピストンバルブを取り出してブラシで清掃する。	
水勢が弱くて汚物が流れない。	● 開閉ねじを閉めすぎている。	1	開閉ねじを左に回して水勢を強める。	
	● 開閉ねじを開けすぎている。	1	開閉ねじを右に回して水勢を弱める。	
ハンドル部から漏水する。	● ナットがゆるんでいる。	6	ナットを締める。	
	● 押棒やパッキン類が傷んでいる。	7	押棒部(TH326)を取替える。	
バキュームブリーカから漏水する。	● バキュームブリーカ部のパッキンが傷んでいる。	8	バキュームブリーカ部(TV1R)を取替える。	

分解図

